

[009] 九州大学附属図書館研究開発室年報 :
2004/2005(9)

<https://doi.org/10.15017/2833>

出版情報 : 九州大学附属図書館研究開発室年報. 2004/2005 (9), pp. 1-63, 2005-06-01. 九州大学附属図書館研究開発室
バージョン :
権利関係 :

平成17年度（第10年次）※平成17年5月まで記載

平成17年 4月1日 研究開発室員総長発令（平井康之 芸術工学研究院助教授、松原孝俊 言語文化研究院教授、竹村則行 人文科学研究院教授、西村重雄 法学研究院教授、荒木啓二郎 副館長・システム情報科学研究院教授、池田大輔 研究開発室助教授、南 俊朗 研究開発室特別研究院・九州情報大学教授、藤崎清孝 システム情報科学研究院助教授、竹田正幸 システム情報科学研究院教授、黒澤節男 研究開発室特別研究員、今西裕一郎 附属図書館長・理事・副学長、Wolfgang Michel 言語文化研究院教授）

5月25日 研究開発室会議（平成17年度第1回）

論文・関連講演会等

平成8年度（第1年次）

平成8年11月19日 九州大学の新しい図書館情報システムの披露式典及びデモンストレーションを開催。画像検索システム、全文検索システム、OPAC横断検索システム、CD-ROMサーバシステム等の研究開発の成果を披露した。

11月29日 竹田正幸室員による講演「電子図書館を超えて」（福岡県・佐賀県大学図書館協議会福岡地区研究会〈平成8年度第2回〉）

平成9年3月18日 図書館職員研修会（研究開発室員を講師として）

○竹田室員「情報検索と図書館」

○柳原室員「欧米及び日本の〈外交史料館〉について」

○中野室員「版本書誌学の諸問題」

平成9年度（第2年次）

平成9年12月1日 国文学関係貴重資料「大和物語」「伊勢物語」「建礼門院右京大夫集」画像データベースをWWWサーバにより公開。

平成10年2月1日 「17～18世紀国際法史・国制史コレクション」データベースをWWWサーバにより公開。

平成10年度（第3年次）

平成10年4月1日 国文学関係貴重資料「扶桑名勝図」画像データベースをWWWサーバにより公開。

11月9日 秦ソウル大学校中央図書館長による講演「情報化時代における韓日文化交流と大学図書館の役割」（於：附属図書館視聴覚ホール）

11月9日 研究開発室研究会（於：中央図書館会議室）
ソウル大学校中央図書館と九州大学附属図書館における電子化の状況についての報告と意見交換を行った。

平成11年3月26日 韓国ソウル大学校図書館との図書館間交流協定締結（於：ソウル大学校）

平成11年度（第4年次）

平成11年5月10日 松原室員による開学記念貴重文物展観「韓国を知る、日本を知る：江戸時代から21世紀の国際交流を考える」（5月16日まで）

- 5月10日 有川室長講演「情報の検索から知識の発見へ」(日本医学図書館協会シンポジウムパネル討論)(於:アクロス福岡)
- 5月11日 松原室員による公開講演会「命を五年縮侯:雨森芳洲と日韓文化交流」(於:附属図書館視聴覚ホール)
- 5月27日 有川室長講演「図書目録カードのイメージ化とその検索」(国立大学図書館協議会)(於:東京大学附属図書館)
- 7月21日 有川室長講演「情報学研究と大学図書館」(名古屋大学図書系職員研修会)(於:名古屋大李附属図書館)
- 平成12年1月26日 有川室長講演「九州大学における情報基盤センターへの期待」(熊本大学学術講演会)(於:熊本大学附属図書館)
- 3月1日 有川室長講演「九州大学附属図書館の中・長期目標について」(於:九州大学附属図書館)
- 3月31日 国文学関係貴重資料「源氏物語」画像データベースをWWWサーバにより公開。

平成12年度(第5年次)

- 平成12年5月8日 今西室員による開学記念貴重文物展観「平安朝文学入門:竹取・伊勢・源氏の世界」(5月14日まで)
- 5月11日 今西室員による公開講演会「平安朝文学の楽しみ方」(於:附属図書館視聴覚ホール)
- 7月6日 イメージデータによる図書目録カード検索システムをさらに充実させて公開(文学部及び九州文化史研究所の図書目録カード約50万枚を新たに入力)。
- 8月1日 Yamanoue, T., Minami, T. and Ruxton, I. 'Using the WebLEAP (Web Language Evaluation Assistant Program) to write english compositions' (FLEAT IV : The Fourth Conference on Foreign Language Education and Technology, July 28th-August 1st, 2000)
- 8月23日 有川室長講演「九州大学における電子図書館機能の拡充」(東北大学附属図書館講演会)(於:東北大学附属図書館)
- 9月27日 南俊朗、栗田英和、有川節夫「イメージによる図書目録カード検索システム:遡及入力問題の一解決法」(『デジタル図書館』No.18, 2000.9)
- 10月6日 有川節夫、南俊朗「ICタグに関する調査報告」(ICタグに関する懇談会)(於:東京大学附属図書館)
- 11月8日 有川室長講演「情報学研究所への期待」(国立情報学研究所公開講演会特別講演)(於:京都国際会議場)
- 11月10日 台湾大学呉明德図書館長が来館し「図書館の電子化と電子図書館に関する合同セミナー」を開催
- 有川室長のオープニング
 - 呉館長 'Development of digital libraries in Taiwan'
 - 南室員 'Puttig old data into new system : web-based catalog card image searching'
 - 竹田室員 'AIR and SIGMA : two efficient information retrieval system at Kyushu University'
 - 篠原歩システム情報科学研究所助教授 'Efficient string pattern matching and text compression : the dawn of a new era'
 - 有村博紀システム情報科学研究所助教授 'Discovery of important keywords in

the cyberspace’

○松原室員により締めくくり

- 11月13日 2000年京都電子図書館国際会議におけるチュートリアル他（11月16日まで）
○有川室長「大学図書館と電子図書館の未来」
○Toshiro Minami, Hidekazu Kurita, Setsuo Arikawa ‘Putting old data into new system : web-based catalog card image searching’
○Hiroki Arimura, Jun-ichiro Abe, Hiroshi Sakamoto, Setsuo Arikawa, Ryoichi Fujino(ENICOM), Shin-ichi Shimozono(Kyushu Institute of Technology) ‘Text data mining : discovery of important keywords in the cyberspace’
- 11月14日 Minami, T., Kurita, H. and Arikawa, S. ‘Putting old data into new system : web-based catalog card image searching’ (Proceedings of 2000 Kyoto International Conference on Digital Libraries : ICDL 2000 , p. 296-p. 303, Nov. 2000)
- 11月29日 松川伸一、南俊朗「図書目録カードイメージ入力のボトルネック：大量データの正当性を検証する」(『デジタル図書館』No.19, 2000.11)
山之上卓、南俊朗、Ian Ruxtn「文書作成支援のためのWWWコンコーダンサー」(第7回ソフトウェア工学の基礎ワークショップ：FOSE2000, 2000.11)
- 12月7日 有川室長講演「オンラインジャーナルの導入と外国雑誌の収集体制の在り方」(国立大学図書館協議会シンポジウム基調講演)(於:名古屋大学附属図書館)
- 12月12日 Oda, M. and Minami, T. ‘From information search towards knowledge and skill acquisition with SASS’ (Proceedings of the 2000 Pacific Rim Knowledge Acquisition Workshop : PKAW 2000, Dec.2000)
- 平成13年 1月10日 九州大学附属図書館研究開発室編監修・解説 今西裕一郎(人文科学研究院教授)『「古活字版源氏物語」全巻画像データベース：九州大学附属図書館所蔵本』CD-ROM発行(勉誠出版)
- 3月7日 有川室長講演「学習・教育・研究の基盤としての大学図書館をめざして」(東京大学附属図書館講演会)(於:東京大学附属図書館)
- 3月7日 有川節夫、南俊朗「ICタグに関する調査報告(2)」(ICタグに関する懇談会)(於:東京大附属図書館)
- 3月20日 ソウル大学校中央図書館における講演
○有川室長 ‘Discovery of important keywords in the cyberspace’
○今西室員「古活字版源氏物語画像データベース」
○南室員 ‘Putting old data into new system’

平成13年度(第6年次)

- 平成13年 5月31日 有川室長「ICタグに関する懇談会経過報告」(国立大学図書館協議会理事会)
- 6月22日 山野室員の新図書館検討ワーキンググループに対する講演「新図書館の建築空間を考える：どうすれば使いやすくなるか」
- 6月28日 新図書館検討ワーキンググループ(研究開発室員 山野善郎監修)「理系図書館における建築性能等への要望(案)」
- 9月8日 Minami, T. and Arikawa, S. ‘Amalgamation of Classification and keyword searches of library catalog with web technology, KES2001
- 10月 南室員による全学教育科目「ネット時代の情報センス」講義開始
- 10月25日 南俊朗「ネットワーク時代の電子図書館像を考える：九州大学附属図書館に

- おける試行」(全国図書館大会大学図書館分科会招待講演)
- 11月7日 南俊朗「図書目録カード検索システムの開発と図書館電子化」(大分県大学図書館協議会研修会)
- 12月18日 南俊朗、喜田拓也「電子図書館構築のための画像認識技術への期待」(数式認識研究会)(於:福岡教育大学)
- 平成14年1月7日 附属図書館講演会(研究開発室研究開発業務成果報告会)
- I プレゼンテーション
- 喜田室員「図書館と情報スキルアップ教育: 情報検索講習会報告と今後の展望」
 - 南特別研究員「図書館自動化&デジタル化=電子図書館: 附属図書館における現状と展望」
 - 藤崎室員「RFIDを用いた図書館運用について」
 - 吉田室員「古書・文書データベース構築に関する調査研究」
 - 山野室員「統合移転後の新図書館建築に関する調査研究」
- II 講演
- 有川室長「これからの大学図書館」
- 2月6日 喜田拓也、南俊朗「電子図書館: 図書館自動化&デジタル化」(産学官技術シーズ展)
- 2月22日 有川室長講演「これからの大学図書館」(於: 慶北大学校中央図書館)

平成14年度(第7年次)

- 平成14年4月19日 南特別研究員「ICタグの利用と目録カードのイメージ検索による図書館電子化への試み」(第53回九州地区大学図書館協議会総会)(於: 大分市)
- 7月10日 韓国慶北大学校中央図書館との図書館間交流協定締結(於: 慶北大学校中央図書館)
- 11月21日 南俊朗「新世代図書館像を探る: 電子図書館への実証的アプローチ」(OR学会九州支部講演会)(於: 福岡大学)
- Yamanoue, T., Minami, T. and Ruxtn, I. 'Web-based concordancer to learn usage of English expressions' (First International Conference on Information Technology & Applications : ICITA 2002)
- 平成15年1月8日 海外図書館視察報告会
- 藤田室員、昌子情報サービス第二掛長「スウェーデン・フィンランドの図書館」
 - 大村データベース掛員「英国・ドイツ2002.9.11-2002.9.19」
- 1月 南俊朗、喜田拓也「RFIDタグを利用した自動化図書館への課題と夢」(季刊文教施設09)
- 南俊朗「自動認識技術による図書館電子化の試み」(鹿児島県大学図書館協議会研修会)(於: 鹿児島国際大学)
- 1月25日 有川室長「これからの大学図書館と電子図書館機能」(筑波大学・図書館情報大学統合記念シンポジウム招待講演)
- 1月28日 附属図書館講演会
- 加藤好郎(慶応義塾大学三田メディアセンター事務長)「私立大学図書館の経営戦略: 図書館職員の育成計画」

○喜田室員、藤崎室員、南俊朗特別研究員「RFIDによる図書館運用について：
図書館の電子化・自動化に向けて」

- 2月4日 筑紫分館においてICタグによる図書館システムの披露式を行った。
2月20日 ラテン語古刊本書誌作成研修会の第5期目を終了
2月27日 喜田室員「九大附属図書館における情報リテラシー教育活動とe-Learningへの
取り組み」(沖縄県図書館協議会講演会招待講演)(於：琉球大学)

平成15年度(第8年次)

- 平成15年6月26日 有川室長「図書館が変われば大学が変わる」(国立大学図書館協議会50回記念
総会記念講演)(於：大宮市)
7月9日 藤田室員を講師として、職員の会計簿記勉強会を8回にわたって開催した。
10月31日 台湾大学図書館と図書館間交流協定を締結。(於：本学附属図書館)

平成16年度(第9年次)

- 平成16年5月10日 宮崎室員による開学記念展示会「シーボルトが観た日本：NIPPON初版本図版
から」を開催(19日まで)
5月15日 宮崎室員による公開講演会「“再発見”シーボルト『NIPPON』」(於：附属図書
館視聴覚ホール)
5月19日 韓国ソウル大学校中央図書館との図書館業務交流に関する覚書調印
5月20日 九州大学附属図書館とソウル大学校中央図書館による国際セミナー「響きあう
図書館ルネッサンス：日韓大学図書館の最新技術と図書館協力」(於：筑紫分
館)
7月1日 西村室員の指導によるラテン語書誌作成研修会の活動に対して、国立大学図書
館協会賞が授与された。(於：大阪大学)
7月8日 藤崎室員「ICタグ技術の図書館業務への適応と課題」(宮崎大学・電子情報通
信学会九州支部特別講演)
11月 南俊朗、池田大輔、喜田拓也「RFID技術を用いた図書館自動化への期待」
(『デジタル図書館』No. 25&26, pp. 3--18, November, 2004.)
11月 南俊朗、池田大輔、喜田拓也、「RFID技術を用いた図書館自動化への期待」、
第26回デジタルライブラリワークショップ筑波大学、November, 2004.
12月 Wolfgang Michel, Elke Werger-Klein. Drop by Drop - The Introduction of Western
Distillation Techniques into Seventeenth-Century Japan. Journal of the Japan Society of
Medical History, Vol. 50, No. 4, pp. 463-492.
12月21日 海外図書館視察報告1「英米の潮流」を開催。
○John Dyson(在福岡アメリカ領事館広報担当領事・福岡アメリカンセンター
館長)
The Value of International Studies for Professional Development
○渡邊由紀子(九州大学附属図書館情報管理課雑誌情報掛長)
インターナショナル・ビジター・プログラムで訪問したアメリカの図書
館
○荒木啓二郎(九州大学附属図書館副館長)
South Bank University, British Library 見聞記
平成17年 Wolfgang Michel. Western Medicine and Pharmaceutics in Seventeenth Century Japan.

Proceedings of the Tenth International Conference on the History of Science in East Asia. Shanghai Jiao Tong University Press, 2005, pp.173-184.

- 2月 Wolfgang Michel. Far Eastern Medicine in Seventeenth and Early Eighteenth Century Germany. Studies in Languages and Cultures (Faculty of Languages and Cultures, Kyushu University), No. 20 (2004), pp. 67-82.
- 2月8日 福岡県立図書館、アクロス福岡との共催による展示会「シーボルトが観た日本：『NIPPON』、『日本植物誌』、『日本動物誌』そして福岡の人々」を開催（於：アクロス福岡、13日まで）
- 2月12日 Michel室員による講演会「シーボルトの日本観－日本のシーボルト観」を開催（於：アクロス福岡）
- 3月 池田大輔、安東奈穂子、田中省作「デジタルライブラリにおける履歴・個人情報保護及び利用」（第27回デジタルライブラリワークショップ、筑波大学東京キャンパス、March, 2005.）
- 3月 池田大輔「新たな電子図書館モデル構築に向けて」（『九州大学附属図書館 図書館情報』 Vol. 40, No. 3, pp. 49--50, 2005.）

平成17年度（第10年次）※平成17年5月まで記載

- 平成17年5月9日 今西室員による開学記念展示会「源氏物語の本いろいろ：源氏物語はどんな本で読まれてきたか」を開催（18日まで）
- 5月11日 海外図書館視察報告2「韓流・漢流図書館事情」を開催。
○甲斐重武（利用支援課長）・宮岡大輔（利用支援課資料サービス係）「韓国大学図書館事情：日韓ILL/DDサービス体制を中心に」
○荒木啓二郎（副館長）「浦項（ポハン）工科大学校 学術情報院を訪ねて」
○星子奈美（コンテンツ整備課電子情報係）「アジア電子図書館国際会議と上海の大学図書館」
○李成烈（ソウル大学校中央図書館）（通訳：図書館企画課企画係 大村明美）
「ソウル大学校図書館と資料保存：九州大学での研修にあたって」

調査・視察等

平成9年度（第2年次）

- 平成9年11月15日 米国大学図書館視察（柳原室員、末次情報管理課長補佐）
○訪問先：シカゴ大学図書館、アメリカ図書館協会本部他
○調査内容：大規模大学図書館の組織・運営・サービス、電子図書館化、研究開発機能等の実態調査のため。

平成11年度（第4年次）

- 平成11年10月31日 東南アジア大学視察（柳原室員、栗山情報管理課長補佐、益森電子情報掛長）
○訪問先：国立シンガポール大学、チュラロンコン大学、タマサート大学図書館他
○調査内容：東南アジアにおける電子図書館化の現状、英語以外の言語使用国